

令和2年度 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)【児童発達支援】

公表: 令和3年3月24日

保護者等数(児童数) 17 回収数 17 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	回答率	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制設備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	88%	0%	0%	12%	100%	・窓が大きいので、明るく広々とした感じで良い。 ・廊下も長く、部屋数もあって十分スペースがあると思う。 ・保育参観等がないため、わからない。	・感染症流行の状況にもよりますが、保護者が見学できる日を定めたりしながら、見て頂ける日を計画したいと思います。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	71%	0%	0%	29%	100%	・職員の数も、子どもに対しても専門性は適切であると思う。 ・保育参観等がないため、わからない。	・受講した研修内容等を掲示するなど、見える化していきます。
	3	事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	81%	0%	0%	19%	100%	・段差もなく、過ごしやすい空間だと思う。裸足でも安全で良い。 ・保育参観等がないため、わからない。	・お知らせボード等を配置する等、いろいろな方法で情報伝達を行っていきます。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%	0%	0%	0%	100%	・子どもの生活が向上して行く為の課題など細かく計画表が作成されていると思う。	
	5	児童発達支援計画には、児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	94%	0%	0%	6%	100%	・家族支援であれば、子どもの送迎時など、支援者の方が今日どんな様子であったか等、詳しく教えて頂き、何かあった時には電話連絡があり、助かっている。	
	6	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	94%	6%	0%	0%	100%	・食事やトイレトレーニング等の支援があり心強い。 ・具体的な支援がわかりにくい環境。	・個別面談日を設ける等により具体的な支援について話せる機会を作っていきます。
	7	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	94%	0%	0%	6%	100%	・制作があったり、クッキングがあったり、ハサミやペンを使ったりと工夫されている。	・内容が固定化しないよう、支援者間で話し合いを持ち、新しい内容を随時取り入れていきます。
	8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	53%	0%	0%	41%	94%	・保育園に通っているので、活動の場はあるが、本人は苦手の様子。	・感染症流行の状況を見ながら、計画していきます。
保護者への説明等	9	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%	100%	・丁寧な説明があった。	
	10	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%	0%	0%	0%	100%	・支援内容の細かい説明があった。	
	11	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	47%	12%	12%	29%	100%	・このような支援をしてもらいたい。 ・お片付けができるようになり、誉めたりしているが、子どもの為に他に何ができるかわからない。	・センターご利用児のご家庭を対象にペアレント・プログラムを実施していきます。今後は地域に向けても計画、実施していきます。

保護者への説明等	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%	100%	・送迎の方に給食をどのくらい食べたか等、その日の様子を細かく聞くことができ、ありがたい。	
	13	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	94%	6%	0%	0%	100%	・モニタリング等の面談があり、今の様子などを伝えている。支援者の方からも助言を頂いている。	・定期的に個別面談ができる日を設定し、実施していきます。
	14	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	36%	0%	29%	35%	100%	・保護者の交流の場があるなら、参加したい。 ・コロナウイルスの為、保護者会等は難しいと思う。	・感染症流行の状況を見ながら、おしゃべり会の実施を再開します。
	15	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に、迅速かつ適切に対応されているか	94%	0%	0%	6%	100%	・支援者の方に、子どものことで相談した際に、よく子どものことをわかって下さり、対応や説明が早かった。	・個別面談日等を活用しながら、対応できる体制を整備していきます。
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	94%	6%	0%	0%	100%	・言葉の発達がゆっくりで、手を引っ張ったりして伝えてくれるので、時々何をしてほしいのかわからない時がある。	・送迎時や連絡帳を通じて、より詳しく伝えていきます。個別面談日等を活用しながら、保護者やご利用児の意思を確認しながら情報共有していきます。
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%	0%	0%	0%	100%	・プリンちゃん便りで行事内容や写真等を載せていて、情報が伝えられている。モニタリングでも、成長の報告を知ることができる。	
	18	個人情報の取扱いに十分注意されているか	94%	0%	0%	6%	100%	・注意されていると思う。	・プリンちゃん便りへの掲載等、取組みを見える化していきます。
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	41%	12%	6%	41%	100%	・本人は訓練はしていない、と言っている。 ・コロナ感染症対応については、検温や消毒、手洗い等を徹底していると思う。	・他施設との共有マニュアルは整備されていますが、今後はセンター独自のマニュアルを作成し、お知らせボード等に掲載していきます。
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	59%	6%	0%	35%	100%	・訓練が行われているかわからない。	・毎月定期的に計画、実施しています。実施後は便りに写真等を掲載していきます。
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	82%	18%	0%	0%	100%	・プリンちゃんでの活動を楽しみにしていて、笑顔や発声も出ている様子。お友達への関心もある様子。 ・行くまではどちらか分からないが、行ったら楽しんでいる様子。	・自由遊びの中で個別でも楽しめる活動を多く取り入れ、達成感につながるよう環境を整えていきます。
	22	事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%	100%	・いつも良くして頂いている。 ・支援者の方がとてもよく関わって下さり、報告もあり、成長も見られ、満足している。	

令和2年度 事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	回答率	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制設備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	60%	40%	0%	100%	・長期休暇時や行事の際は、ご利用児の特性や活動内容によって、部屋を分ける、開放する等、環境を整えています。
	2	職員の配置数は適切であるか	70%	30%	0%	100%	・各部屋にいるご利用児数に応じて、支援者の人数を決めて配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	100%	・センター内はバリアフリー化しており、全体のスケジュールを掲示し視覚的に理解しやすいようにしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	90%	10%	0%	100%	・法人内のQC研修発表会に参加し、支援者間での情報共有に努めています。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	90%	10%	0%	100%	・保護者からの評価を頂いた結果を踏まえ支援の見直し等を行い業務改善につなげ、今後も継続して実施します。
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	90%	10%	0%	100%	・評価結果を踏まえ、会議を持って事業所での評価をし、改善すべき事項を検討しています。今後も毎年継続して行い、結果については法人のホームページ上で公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	90%	10%	0%	100%	・平成30年に第三者評価を受審しました。今後も定期的に受審し、業務改善に努めていきます。
	8	職員の資質の向上を行うため、研修の機会を確保しているか	40%	60%	0%	100%	・今年度は、感染症流行の為、機会の確保ができませんでしたが、今後はオンライン等での参加も検討していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画書を作成しているか	100%	0%	0%	100%	・利用開始前にアセスメントを行い、保護者やご利用児のニーズを把握したうえで作成し、支援者間で共有し支援を提供しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	70%	30%	0%	100%	・独自で作成したアセスメントシートに記入し、発達段階を知る目安としています。
	11	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	80%	20%	0%	100%	・発達支援を中心に他の支援についても設定しています。今後も個別に具体的な支援内容を設定し適切な支援を提供していきます。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	70%	30%	0%	100%	・個々の児童発達支援計画に沿った支援を提供しています。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	90%	10%	0%	100%	・1週間の日々の活動内容を決め、支援者間で話し合いを持ち、立案しています。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	100%	・支援者間で話し合いを持ち、前回よりステップアップできるように内容の変更等行っています。
15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	90%	10%	0%	100%	・ご利用児の特性を理解し、個別活動や集団活動を、適宜組み合わせる作成しています。	

適切な支援の提供	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	100%	・定時に朝礼を行い、その日の支援内容や役割分担を支援者間で確認しています。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	40%	60%	0%	100%	・可能であれば支援終了後、又は退勤前に必要な振り返り・引き継ぎ事項の共有等を現場職員で行っています。
	18	日々の支援に関して、記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	100%	・当日中に個別の記録を取り、特記事項があった場合には支援者間で情報共有を行っています。
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	100%	・6ヶ月ごとにモニタリングを実施し、必要に応じて計画の見直し等を随時行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	100%	・児童発達支援管理責任者が日頃の様子を把握し、個別記録を持参して参加しています。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	0%	100%	・必要な関係機関と情報共有を行い、必要に応じて電話連絡や会議等行いながら連携しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援の為に、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	50%	20%	30%	100%	・発達支援教室等を活用し地域におけるニーズを把握しながら、関係機関と連携していきます。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	40%	50%	10%	100%	・関係機関との連絡体制を整え、ニーズに応じて提供できる支援体制の整備について検討していきます。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%	100%	・サービス担当者会議等により移行に向けた必要な情報共有を行っています。
	25	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%	100%	・就学前にサービス担当者会議を用いて必要な情報共有を行っています。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	40%	40%	20%	100%	・地域の児童発達支援センターとして、又東部圏域児童発達支援ネットワーク事務局として、専門機関との連携や研修の在り方を検討していきます。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10%	50%	40%	100%	・今後は感染症流行の状況を見ながら、地域での他との交流の機会を検討・実施していきます。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	60%	20%	20%	100%	・専門部会や会議等に参加しています。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	90%	10%	0%	100%	・連絡帳や送迎時を活用し、その日の出来事や様子を共有し、共通理解を図っています。
30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	50%	30%	20%	100%	・ご利用児の保護者を対象に、ペアレント・プログラムの実施を継続していきます。	

保護者への説明責任等	31	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	90%	10%	0%	100%	・契約時に必ず説明し、随時質問を受けた場合にも対応しています。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	80%	20%	0%	100%	・児童発達支援計画書は、保護者に支援内容を説明し、その際に同意を得た上で署名・捺印を頂いています。
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80%	20%	0%	100%	・保護者より悩み等相談を受けた場合には、必要な助言を行い、その後の経過も含めた支援を行っています。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	30%	60%	10%	100%	・今後は感染症流行の状況を見ながら、保護者が集まれる機会を設けていきます。
	35	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	90%	10%	0%	100%	・担当者を明確にし、対応体制を整備しています。相談や申し入れがあった際には早急に対応し、適切な対応をすると共に記録も整備しています。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	90%	10%	0%	100%	・毎月「プリンちゃん便り」を発行しています。今後も掲載内容の充実を図っていきます。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	0%	100%	・個人情報に関する書類関係は、キャビネット内に保管し施錠管理しています。
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	100%	・個別に対応できるよう、視覚支援を活用しています。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	50%	30%	20%	100%	・感染症の流行もあり、地域に向けた行事が行えない為、今後は実施の在り方も含め検討していきます。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	90%	10%	0%	100%	・他施設との共有マニュアルを整備し、訓練を実施しています。今後はセンター独自のマニュアルについても策定を検討していきます。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	100%	・火災や地震等想定し、毎月定期的な訓練を実施しています。
	42	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	60%	40%	0%	100%	・契約時の聞き取りの際に、事前に確認しています。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	70%	30%	0%	100%	・食物アレルギーのあるご利用児については、医師の指示書を提出して頂き、準じた対応を行っています。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	100%	・内容の共有は即日又は翌朝に行い、月毎に内容と件数をまとめ、会議を持って共有しています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	100%	・施設内での研修や、委員会を通じた研修の機会があり、虐待防止への意識向上を図っています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分の説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	80%	20%	0%	100%	・やむを得ず身体拘束に該当する支援の必要がある場合には、保護者への事前の説明を行い、同意を得た上で、支援計画書に記載し、記録を行います。